

平成30年度 第3回鶴岡市スポーツ推進審議会 会議録

- 日 時 平成31年1月28日（月）午後2時から3時15分まで
- 会 場 小真木原総合体育館大会議室
- 審議事項 鶴岡市スポーツ推進計画後期改定計画（案）について
- 出席委員 渡部正芳会長、飯野準治副会長、齋藤隆委員、小田悟志委員、丸山春男委員、佐々木真人委員、村田久忠委員、鎌田博子委員、佐藤しおり委員、佐藤武委員
- 欠席委員 佐藤祐司委員、齋藤範夫委員、石川真澄委員、鈴木金右エ門委員、千田洋子委員
- 市側出席職員 鶴岡市教育委員会 教育長 加藤忍、同教育部長 石塚健、同学校教育課指導係 専門員 佐藤友大、同スポーツ課長 齋藤匠、同スポーツ課長補佐 高橋修也、同スポーツ課スポーツ振興主査 阿部三成、同スポーツ課スポーツ振興専門員 齋藤正人
- 公開・非公開の別 公開
- 傍聴人の人数 0人
- 審議経過 以下のとおり

1. 開会

高橋（事務局） 本日は、お忙しいところご出席いただきありがとうございます。それでは、ただいまから平成30年度第3回鶴岡市スポーツ推進審議会を開会いたします。

2. あいさつ

高橋（事務局） ここで教育長 加藤忍がご挨拶を申し上げます。

加藤教育長 こんにちは。立春を前に大寒の期間ではありますが、今日は雨ということで、お忙しい時期皆様からお集まりいただき大変ありがとうございます。1月15日県庁で、東京オリンピックの聖火リレーに関しての実行委員会がございました。報道された通りですけれども、県内の4地域を周るルートをおさえておって、日程的には6月7・8日の2日間で県内を通過する予定とのこととあります。正式決定は年内のこととなりますけれども、決定すれば庄内では初めての聖火リレーとなります。ホストタウン登録ということできっと来てくれるのではないかと期待を大きくしているところであります。この審議会につきましては、これまで8月に第1回、10月に第2回と開催させていただき、後期改定計画の策定に向けて、いろいろ皆様からご意見を頂戴してきたところであります。第3回目の今回は、頂戴した意見をもとに原案に修正を加え、再度計画案を提示させていただき、ご意見を賜りたいと考えております。策定スケジュールは、今回が一応最後となっております。今日まとめていただければ大変ありがたいと思っております。後ほど事務局が案の説明をいたしますが、忌憚のないご意見を賜りたくお願い申し上げます。本日はよろしくお願いたします。

高橋（事務局） 続きまして、渡部正芳会長にご挨拶をお願いいたします。

渡部会長 皆さんどうも雨の中ご苦勞様です。今教育長さんから話しあった通り、この時期の雨なんて本当に珍しい話でして、そういう意味では旧暦の方があっているのかなど。旧暦でいうとちょうど12月23日ですか、元旦が2月5日ということで、非常に微妙な時期ですけど旧暦の方が少しあっているのかなという感じがいたします。教育長さんから話しありましたように、今回は実質的に最後の審議会となるわけですし、皆様方のお手元に資料が行っているようですが、結局10年の基本計画の後期の見直しということで出発したわけですが、実はその後期の見直しに、次の基本計画の新しい10年に結びつく何かを織り込む必要があるかと、そういう視点で最終的なチェックをしていただければありがたいなという感じがいたします。いずれにしても5年後のまた次の10年というのはそう簡単に、この時代の流れの早い時期に分かる話ではありませんが、あくまで感覚で結構ですから皆様方から忌憚のないご意見を存分にいただきたいというお願いをしてご挨拶とする次第であります。よろしくをお願いいたします。

3. 協議

高橋（事務局） ありがとうございます。続きまして、次第の3「協議」に移らせていただきますが、ここで委員の出欠についてご報告申し上げます。次第の裏が名簿になっておりますが、3番 佐藤祐司委員、5番 齋藤範夫委員、9番 石川真澄委員、12番 鈴木金右エ門委員、14番 千田洋子委員から欠席の連絡をいただいております。また、4番 小田悟志委員は次の用のため1時間程で退席されることをご了承いただきたいと思っております。本日、委員15名中10名の出席ということで、過半数の出席を得ておりますので、鶴岡市スポーツ推進審議会条例第6条第2項の規定により本審議会は成立していることをご報告申し上げます。なお、教育長のあいさつにもありましたが、今回は計画案の最終検討というスケジュールとなっております。ここで今後のスケジュールを確認させていただきます。資料の24ページをご覧ください。本日の審議会でもいただいたご意見をもとに修正を加えまして、渡部会長から教育長へ計画（案）の答申をしていただきます。これは2月の下旬を目途に日程を調整して参ります。その後、2月の中旬～下旬にかけて、パブリックコメントを実施して、市民のご意見を聴き取りした上で、3月中旬に行われる定例教育委員会で計画策定の運びとして参りたいと考えております。また、3月下旬には、第4回審議会を開催し、例年ご審議いただいている補助金や事業についてのご審議をいただく予定でおります。ご質問が無いようであれば「協議」に移らせていただきますが、議長につきましては、鶴岡市スポーツ推進審議会条例第6条第1項に、会長が議長となる旨規定されておりますので、渡部会長をお願いいたします

渡部会長 それでは規定によりまして座長を務めさせていただきたいと思っております。それでは次第の3. 協議に早速入らせていただきたいと思います。（1）鶴岡市スポーツ推進計画後期改定計画（案）について事務局の説明をお願いします。

齋藤（事務局） 事務局のスポーツ課齋藤正人でございます。どうぞよろしくお願いいたします。それでは「鶴岡市スポーツ推進計画後期改定計画（案）」につきましてご説明を申し上げます。今回のご提案につきましては、前回10月31日の第二回審議会でも皆様から頂いたご意見をもとに、前回の原案に修正を加えたものでございます。その後の経過としてご報告を申し上げますが、

12月の定例教育委員会におきまして、計画案に対する意見の聴取を行っております。なお、その中で修正が必要となる特段のご意見はございませんでしたので、併せてご報告いたします。計画案の全体を通しまして、文字表記などの細かい部分での修正や、写真を配置するなど手を加えている部分もございますが、前回いただいたご意見をもとに修正した箇所を中心にご説明を申し上げます。まず、2ページをお開きください。前回、市民に夢を与えられるような前向きな文言、「例えば“つくる”“生きる”“生きがい”など、少し重みのある言葉を加えてはどうか」というご意見をいただいております。そこでこのページを追加し「スポーツの価値と計画の指針」として、その内容を盛り込みたいというご提案でございます。上段の文章では、スポーツの内在的な価値や多面にわたる役割、スポーツ基本法におけるスポーツの定義、スポーツの語源などを示しながら、「楽しさ」「喜び」がスポーツの価値の中核であるとして、スポーツの持つ力で、前向きで活力のある鶴岡市の未来をつくっていくという旨の内容を記載しております。下の段では、「計画の指針」として、「スポーツで生きがいをつくる」「地域をつくる」「未来をつくる」の3つを示しました。国の基本計画においては、「人生が変わる」「社会を変える」「世界とつながる」「未来を創る」の4つを掲げておりますが、本市においては、スポーツを推進するその先に見るものの具体としてこの3つを掲げることをご提案するものでございます。続きまして7ページをお開きください。基本方針2の目標につきまして、「全国大会で上位に入賞する選手」との記載だった部分を「全国大会で優勝する選手」に変更しております。これにつきましては、目標の「10人程度」の妥当な基準が「全国大会優勝」でありましたので修正するものであります。続きまして10ページをお開きください。「8.具体的な取り組みの基本方針・施策への対応」でございます。前回ご意見のありました通り、網掛けになっている○の記載を追加しております。考え方としましては、どの取り組みにおきましても全ての施策に少なからず関係してくるものでありますので、広い意味で考えれば全ての欄が○になるということもできますが、ここでは特に関連する施策への対応という考え方でお示しさせていただいております。そのようなことで、なお「○」を追加した方が良いなどのご意見や、もしくは、そもそもこの対応表にはさほどの意味が感じられず、例えばここでは単に「具体的な取り組み」の一覧・目次といった役割のページにした方が良いなどのご意見があればお聞かせいただければと思います。よろしく申し上げます。続きまして13ページでございます。取組5「学校における体育・保健体育授業等の充実」の文章の中で、2段落目の中ほど「また、」以降のところ「生涯にわたって運動やスポーツに親しむための“基礎となる経験”」とありますが、この「基礎となる経験」の部分は、前回「資質や能力を育むこと」としておりましたが、文言を精査して修正したものであります。また、前回、「学校での地域指導者の活用」、「地域のスポーツに触れ合う機会」についてのご意見がございましたが、この2段落目のところで、そのような趣旨の記載がございますので、前回同様の文章でのご提案とさせていただいております。続いて14ページの取組7「総合型地域スポーツクラブの活動充実」でございます。前

回の提案では、国・県にならう形で「質的充実」という言葉を中心に文章を構成しておりましたが、前回、「スポーツクラブへの期待が大きくなりすぎていて現実的でない」「質的充実といってもなかなか難しい」「設立当初の基本的な大切なことや、行政内の連携についての文言がほしい」などのご意見をいただいております。そこで、まず「質的充実」の言葉をなくし、総合型クラブの基本的なところを意識して、タイトルから文章全体を見直し、分類も「拡充」から「継続」に修正しております。ご審議いただきますようお願いいたします。続きまして17 ページの取組 14「市民ニーズに沿ったスポーツ施設の整備充実」でございます。3段落目の「人工芝グラウンド」につきまして、前回、「“早急にしなければならない”のようなもう少し強めの表現を」とのご意見をいただいておりますので、ここに「出来るだけ早い時期の整備を目指しながら」という文言を追加しております。また、市民プールやトレーニングルームにつきましても、整備を求めるとのご意見がございましたが、施設整備の施策全体として、いずれも整備財源の課題があることから、言葉の選び方として慎重にならざるを得ないというのが正直なところであり、これについては前回提案の文章を維持させていただいておりますのでよろしくをお願いいたします。続いて取組 15「障害者や高齢者等が利用しやすいスポーツ施設的环境整備」でございますが、文章を読みやすくするために、バリアフリーとユニバーサルデザインの二つのセンテンスを一つにまとめるなど文言の整理をしております。続いて18 ページに移りまして、取組 16「スポーツ施設の適切な管理運営の推進」につきましては、前回ご意見のありました「公平な」の部分を削除し、文言の整理をしております。次に取組 17「学校体育施設等の有効活用とスポーツに親しむ場の確保」につきまして、3行目の後半部分から「本市の豊かな自然を体験したり体を動かして遊んだりすることができる」という文言を追加しております。これは前回、「自然に親しめる場所の活用」といった趣旨のご意見をいただいておりますのでここに追加させていただいたものでございます。続きまして、21 ページに移りまして、ここに用語集を追加しております。本文中の用語の脇に「※番号」を追加記載しておりますが、その用語の意味などについて、この21～23 ページの用語集にお示ししたいというものでございます。用語としては29 個抽出いたしました。このほかこの用語について説明があった方がよいなどのご意見があればお聞かせ願えればと思います。よろしく申し上げます。続く24 ページには、計画策定の経過と審議会名簿、25 ページには審議会条例を掲載しております。26 ページ以降には、アンケート調査の調査結果を資料として掲載しております。現段階では画像データの読み込みが荒いため見えづらくなっておりますが、今後もう少し鮮明に見えるような処理をしてまいりたいと考えております。説明は以上でございますが修正した点に絞って簡単に説明をさせていただきましたが、全体を通して気になる部分があったら、ご意見等頂戴できればと思います。また、本日の資料といたしまして、一枚資料で計画の概要と改定のポイントというものをお配りさせていただきました。策定した際にはこういった一枚に簡単にまとめた概要版を作りまして市民向けに広めてまいりたいと考えておりますので、今

回ご審議いただいて修正を加えたものでまたさらに概要版も直しますけれども、こういったことも考えてまいりたいということでお配りさせていただきました。以上でございます。よろしくお願いたします。

渡部会長 はい、ありがとうございました。ページ数結構あるようなんですけども、前回の結果少し修正した箇所を中心にご意見をいただきたいと思います。ページに従っていきたいと思います。最初の2ページ「2. スポーツの価値と計画の指針」ということでこれを追加したという説明でありましたが、これについてご意見ございませんか。

齋藤隆委員 はい、この部分は追加された部分で非常に良くまとまっているなど感じがしました。この表についてですが、「生きがい」「地域」「未来」という大きな3つ、その下に「スポーツで楽しく健康で活力ある人生“に”と切っているのですが、「人生の“実現”」であるとか、真ん中の「地域」のところを見ると「スポーツで地域に活力を“生み出す”」なんですよ。だとすると、「スポーツで楽しく健康で活力ある人生を“生み出す”」とか「人生の“実現”」となるのか、この辺は意見ですが、文章でしっくりいかないかなと。それから「未来をつくる！」の「スポーツで子どもたちをはぐくむ」は、どんな子どもたちをはぐくむんだというふうになると、後半の部分では「たくましく健康な」とあります。だとすると「スポーツで“たくましく健康な”子どもたちをはぐくむ」とかそういう文章の方が少ししっくりいくのかなと思いました。そして四角の部分もそうですが、〇〇の〇〇、心身の健康増進、健康寿命の延伸、この三段目「生きがいに満ちた生き方の“享受”」とか、〇〇の〇〇となればまたこの部分も非常に良いのかなと。それから「地域をつくる！」の最後ですが、ここも上の文章と見るとしっくりいかなくて、例えば「世界とつながる国際交流の促進」というように並び替えてみる。「国際交流で世界と繋がる」だと尻切れとんぼみたいな感じに受けましたので変えてみてはどうなのかなと。それから「未来」のところですが、少年団活動とありますが、ここは「スポーツ少年団」と“スポーツ”を入れるべきではないのかなと。「スポーツ少年団活動の充実」と。それから、「幼児期からの運動遊び」で切れていますが、「運動遊び、機会の創生」になるのかなと。これは12ページに出ていましたので、文章長くなりますがこの辺は意見であります。最後は四角の中にもうまく6つを入れようとしたのかなと思ったのですが、この最後の部分「少子化でも子どもに夢を“託す”」とかいろいろ考えたのですが、わざわざ要らないのかなと思ったり、どういう文章にするのかなと30分くらい考えたりしたのですが、全然出てきませんでした。何も6つずつ入れる必要もないのかなとも、ちょっと失礼な言い方ですが、文章についてどうこうではないですが意見としてご検討いただいたらと思いました。以上です。

渡部会長 ありがとうございます。今の意見ということでしたが、これに関連して委員の皆様方からそれだったら自分はこう考えた方が良いとか何かありましたらいかがですか。

齋藤隆委員 非常に良い文章だと思います。ただ、表にちょっと違和感があったというだけです。特に何もなければそれで良いのです。ただ意見として述べさせていただきました。

渡部会長 子どもたちの関連が、少し表現の工夫が必要でないかというようなニュアンスでしたが小田委員いかがですか。

小田悟志委員 なるほどと思いながら聞いておりました、「子ども」とかで切るのではなくて、このようにしていきたいということまで、もしわかるのであれば良い方向性が見えるので参考にさせていただいては。私はこっちが良いとまでは言えませんので、参考にさせていただければと思っておりました。

渡部会長 関連して他の委員の方々どうですか。無ければ事務局で持ち帰って検討で結構なのですが、意見ですから今もしコメントできるようなものがあればお話をいただければと思いますがいかがですか。

齋藤（事務局） いただいたご意見をもとに検討させていただき修正を加えたいと思います。

渡部会長 それでは7ページの基本方針2の文言を変えたということでしたが、これについてはご意見ございませんか。

村田久忠委員 7ページの基本方針1（2）「子どものスポーツ機会の充実」の課題ですが、言葉としては少年団の団員数が減少傾向にあるというのは実態そうなのですが、平成28年に小体連で何のスポーツをしているかという調査をしたわけですが、昔は少年団とスイミングクラブと半々くらいだったのですが、調査結果を見ると多様化をしているので、その言葉を入れた方が良いのではないかと思います。文章については、今ここでどうこうではないですが、最後には「子どものスポーツ環境を整える」とあるので「多様化している」という部分も入れた方が良いと、これも意見ですけど思いました。

渡部会長 今、村田委員からは、単に減少傾向ではないという話ですね。減少は減少だけでも、実態は多様化した結果そのように見えるものもあるのではないかというようなご意見でした。これについて皆さんいかがですか。

村田久忠委員 課題になるかどうかということもあるけども、市民健康スポーツクラブでやっている体操系のものとかテニス系とか、競技団体でやっている陸上も含めてですけど、いろいろなものが出てきているというところがあるのだと思いますけど、少年団だけではないというところでその辺書き方ですけど、どうかなと。

渡部会長 これに関して、事務局特に今コメントするようなものがあればどうですか。

齋藤（事務局） この基本方針1（2）「子どものスポーツ機会の充実」のところで、課題としてスポーツ少年団のことを一つ挙げさせていただいたわけですが、子ども全体のスポーツ環境への課題というような意味で検討させていただいて、追加するものは追加というような形で持ち帰らせていただければと思いますのでよろしく願いいたします。

渡部会長 よろしく願いいたします。それでは10ページは表ですから、これについては事務局からは全く別の考え方でこのページを作り直すことも可能だというような話をいただきました。この辺についてはいかがですか。丸山委員いかがですか。

丸山春男委員 特にありません。

村田久忠委員 判断というかなかなか曖昧なところがあって、「1.生涯スポーツ」に“地域スポーツ”があり、「4.地域活力推進」に“地域活性化”がありますが、意味合いの違いというか、

地域スポーツというのは振興の話で、地域活性化というのはスポーツする人だけでなく市民みんなに喜びを提供するという考え方でないかなと思うのですが、どうしてもこういうものにするとう曖昧さが出てくるので、表示としてはわかりやすく分けていると思うけども、なかなか難しいものだと思います。そういう意味でどうかということですよ。

渡部会長 なかなか日本語は難しく、表現の仕方はどういう切り口で考えるかで相当違ってきますので、今の例で言えば活力を推進するという表現もどうなのかと。推進なのか増進なのかという議論もあるし、細かく言えばきりが無いと思いますが、なかなか全ての方にストンと落ちるようなまとめ方は非常に難しいと思いますね。ただ、先ほど事務局の説明では事業を細かく見ていけば全部に丸がつくようなものだと、関連がありますよということであえて絞ったと説明されていましたが、その辺はいかがですか。だいたい網掛けの部分は前回の結果を追加したということになるわけですが。あれもこれもというと全部丸ということになるので。先ほどの事務局の大きく変更しても良いのではないかという意見についてはどうですか。この表を削って全く別のものにして、以下のページの詳細な説明と言いますか、見やすいような構成も可能だという話ですが。これはこれでよろしいですか。それではこのような形で進めさせていただきたいと思います。それでは 13 ページ取組 5 ですね、この辺は文言整理したということですが、特に問題点があれば“基礎となる経験”というような形で集めてはおるわけですが、その他の部分でも結構ですからこの取組 5 についてご意見ございませんか。飯野委員いかがですか。前回指導者をもうちょっと持ち上げろという話がありました、ここではそれに関連したスポーツ指導者やトップアスリートの人材等の積極的な活用と表現していますが、特にご意見ございませんか。

飯野準治委員 われわれが考えることは多分に網羅されています。欲を言えばきりないから。

渡部会長 非常に知恵を絞ってこういう凝縮した文章になっているわけですからなかなか大変だと思いますけど。鎌田委員特にございませんか。

鎌田博子委員 特に意見というのはないですけども、地域にいるスポーツ指導者それからトップアスリートがたくさんいると思うのですが、私も情報不足かもしれないんですけど、そういう方たちがどのぐらい活用されているのかということが知りたいものだなと思います。

渡部会長 ここでは人材等の積極的な活用に努めると表現していますのでそれに期待するとなろうかと思えます。それではこれについてはこの辺にしまして、次の 14 ページ取組 7 は全文改定したということなのでご意見をいただければと思います。鎌田委員いかがですか。

鎌田博子委員 はい、総合型スポーツクラブが市内に 10 できていますけど、それぞれに大きな課題を抱えていて、現実前回もお話いたしましたけど、なんとか鶴岡市内でネットワーク作りを構築していければいいなということを、各クラブでも話し合う機会はあるのですけれども、その時にわれわれだけで声を出してもなかなかまとまらないところもあるので行政の支援をいただきながら 2019 年何とか足がかりをつけていきたいものだなと思っております。

渡部会長 これは前回もそのようなご意見があったわけですが、ここでは活動メニューの開発と提供、その他ですね、財源確保の取組そして後段でクラブ間の情報共有やネットワークの強化などに取り組みますという表現になっているわけですよ。特に事務局としてはその辺意識したなにか追加して説明するようなものがあるかと思いますが。

齋藤（事務局） 記載した通りでございます。

丸山春男委員 この件の前に7ページに戻りますけども、全国大会の優勝する選手を10名という具体的にかなりハイレベルの目標設定になっていますが、戻って今回の総合型の件についての記載は良いと思います。ただ、この中にやはり「初心者からトップレベルまで」という文章が2行目にあるのですが、これも理論上の、教科書に既に書いてありますが、鶴岡の実情に合った文章なのかという疑問があります。それから下から4行目ですが「行政各部署間においても連携した育成支援に努め」ということで鎌田先生からお話しありましたけれども、この辺ももう少し具体的にどこの行政部門かわからないので、もう少し噛み砕いた表現ができればありがたいと思います。この中で、努めていってどのくらいのスポーツクラブの人員を確保できるかと具体的に、例えば市民の全体の1%~2%が目標だと具体的な目標を立てないと、後からPDCAサイクルで判断できないと思いますので、もしご検討いただければと思います。

渡部会長 非常に厳しいご指摘なようですが、7ページで優勝選手を10人程度と具体的に目標設定したのだからこの目標はどうなのかとこういう意見ですね。

鎌田博子委員 丸山委員さんからトップレベルまでということでしたけども基本的には本当に初心者、運動が苦手な方、障害のあるなしに関わらずそういう方たちに運動スポーツの楽しさを提供することからスタートしたわけですけども、最近子どもたちのコースでも、今部活動もいろいろといわれていますけども、部活動にない種目で全国大会に参加して成績を収めている子どもたちもいるわけなのでね。このトップレベルというのはやっぱり総合型がこれからここを目指しても良いのではないかなと思います。

渡部会長 佐藤しおり委員いかがですか。

佐藤しおり委員 特にありません。

渡部会長 非常に読み手の側に立ったご意見が出ているわけですが、なかなかそこまで噛み砕いてここで記載しようとするのが難しいところもあるかと思いますけれども。事務局何かここで特にコメントするようなことはございますか。

齋藤（事務局） 行政各部署間の連携について、どことどの課がどういった連携をするかという具体的な記載があった方が良いということにつきましては、現状で調整が不十分ということもあり、現時点で具体的な連携内容までなかなか書ききれないというのが正直なところであります。今後計画を推進する中でその連携をつくっていくという意思表示としての意味合いの文章とさせていただいたところではありますが、そのようなことで数値目標につきましても同様でございます。ご理解いただければと思いますが、なおご意見をいただいて検討させていただければと思います。

渡部会長 丸山委員のご指摘は将来を見据えてこれが文章化して、市民の方がこれを見たときに必ずそういう質問が出てくるぞというような注意を喚起した部分が非常に大きいかなと思います。そういう時に行政側から考えや経過がスッと出ると市民の受け取る方は非常に安心するんですね。これからとなるとなかなか浸透しないということだと思いますのでよろしくお願いをしたいと思います。

村田久忠委員 15ページの取組9のところでは二点あるのですが、一段落目では「一人でも多くの指導者の確保と資質向上、指導者の充実を図る」とあり、二段落目では「地域におけるスポー

ツ指導者の充実を図る」とあり、重なって見えて何が違うのかわかりづらい。上の部分は実技や健康づくりの指導者とかそういう意味で、下の部分はスポーツ推進委員のコーディネーター的な話だと思うのですが、そこをもう少しはっきりさせた方が良いかなと思いました。もう一点は、一行目でスポーツ少年団の認定員養成講習会の話がありますが、年号変わりますが平成 32 年に日本スポーツ協会の公認指導者制度と日本スポーツ少年団の指導者制度の二つが日本スポーツ協会の指導者制度に一本化されます。32 年度から認定員の資格が無くなるのがわかっているので、この計画の中で言葉をどうするかは相談してもらえればと思います。認定員・認定育成員がなくなって、新たにスタートコーチという日本スポーツ協会の資格に変わっていくので、まだ最終決定ではないので書けないと思いますが、文言については検討した方が良いのかなと思います。

渡部会長 制度が変わるといのはまだ決定ではありませんので、近い将来変わるという前提で少し文章的に工夫したらいかがかというご意見でした。事務局何かコメントがあれば。

齋藤（事務局） スタートコーチという名称で予定はされているわけではありますが、まだ正式ではないという部分で、例えば日本スポーツ協会の指導者資格の養成講習会というような表現で考えさせていただければと思いますがいかがでしょうか。

渡部会長 その辺は検討していただければ結構だという委員の意見ですからよろしくお願ひしたいと思います。それでは先ほどの 17 ページについていかがですか。これは財源的な問題を考慮してこのような表現にならざるを得なかったというような説明でしたが。

佐々木真人委員 前回で温海の事情も説明し、その後温海内で屋内の体育館ということで検討しまして要望書を出す方向で取り組んでいるところです。現状としてスポーツクラブは文化施設の集会場でやっております。30 年以上も経っているものですので、それから駅伝クラブの走る方々にはふれあいセンターで文化施設を拠点にして、そのように工夫しながらやっていますが、先々言いますとやはり今は三中と大山ということですので、先にはここを寄せないと進まないだろうという皆さんのことありまして要望書を出してぜひ寄せて前に進めればなということで考えておりますので、その節はよろしくお願ひしたいと思います。もう一つ、人工芝グラウンドについて強く早期ということで書いたわけですが、庄内体連協で庄内にサッカー場をという前段はもっと大きい仕掛けだったので、だんだん縮小ではないですけど鶴岡病院跡にというようなところまできていますけども、県への要望ということで全然進まないと同じ状況なのですけども庄内体連協もそういう状況である中で、鶴岡市として人工芝グラウンドをどういう方向でどの場所とかそういう方向性があるのかわからなかったものですから、その辺との整合性を含めてどう考えているのか教えていただければありがたいです。

阿部（事務局） 人工芝グラウンドの件につきましては、県に要望しております高坂の旧鶴岡病院跡地は県立病院課が財産の管理を担当しておりまして、昨年も直接担当の方とお話をしてきたのですが、やはり解体に 5 億を超える金額がかかるということもあり、やはり病院会計自体赤字だという事情もありますので、なかなか解体に踏み込めない状況にあるということで、県で整理するという状況には全く至っていないという状況にあります。そこで方向転換する手立てとして本市の候補地としてはさまざまあるのですが別の所に新たに人工芝グラウンドを整備したいというようなことで今委員会の中で検討を進めている段階でございます。以上です。

渡部会長 庄内開発協議会の方の重要事項には載っているのですか今の件は。

阿部（事務局） 要望事項につきましてはあくまでも要望として継続して体連協の要望が出ておりますし、鶴岡市の重要要望事項としましても県の方に継続して高坂の旧鶴岡病院跡地の方に整備を進めて欲しいというようなことは、手を上げたわけではなくそのまま継続しております。

渡部会長 それでは取組 15 ですね、これについては文言整理ですか。特に問題なからうかと思えますが皆様方いかがですか。

齋藤隆委員 取組 14 に戻ってトレーニングルームですが、前もちょっと少し話をしましたが、日常点検の延命化ということもあります、トレーニング機器も年々素晴らしいものができていると思いますよね。これは大きな予算もかかることではありますが、いろんなところに行ってみるとこんなものもあるんだというような最新のものがあって、そういうものを提供したり体験させたりということも大きなことなのかなと。今回の見直しとはまた別ですが、次の段階でやはり最新のトレーニング機器なども計画を持ちながら市民の方に提供していくということも大切なかなと。あるものを大切に使うということも大切なことですが、どんどん進歩すると思います。もう 5 年 10 年したらまた素晴らしいものがでてくるのかなと考えると、その辺も長期的な視点で考えて行く必要もあるのかなと、これも意見であります。

渡部会長 これも最初に私申し上げたように次の 10 年の計画のスタートをどの辺に置くというところにかかってくるわけですけどね。今、委員おっしゃられたように機器類は年々新しいものが出来て進化しているという状況の中で、ここでいう年次計画をいつ立てるのという、どこに向かって立てるのというこういう質問が出るんじゃないかというようなニュアンスでの話でした。いずれにしても市民目線で見るとこう書かれればいつできるのとなるのは当たり前で、その辺は市民からの声が出たときにどのように答えられるかですね、事務局どうですか。

阿部（事務局） 長期的な年次計画というのはまだ策定していない状況です。3 年程度の計画は組んではおりますけれども、市内の体育施設では 4 つの体育館にトレーニングルームがあり、それを一気に更新となると財源的に非常に難しい部分がありますので、バランスよくうまく配置できたら良いと思います。また、更新する際もスポーツ振興くじの助成など有利な財源等活用しまして計画を立てていきたいと考えておりますので、問い合わせの際は長期も計画中だというようなお答えすることになるかと思えます。以上です。

渡部会長 ぜひ、機器についてはきめ細かな情報収集に努めていただければなという気がいたします。それでは 18 ページの取組 16 これについても文言整理だったようですが、委員の皆さん方意見ございませんか。

丸山春男委員 質問です。取組 16 に「本市が山形県から指定管理を受けている鼠ヶ関マリーナ」とあるのですが、鶴岡市が県から指定管理を受けているのはここだけですか。

阿部（事務局） 県の施設の指定管理としましては鼠ヶ関マリーナだけです。

渡部会長 他にございませんか。特になければ取組 17 に行きたいと思えます。これについては中ほどの文章表現を変えたということのようですが、いかがですか。なければ 21 ページからは用語集ですから特にこれに追加するようなものがございませうかという話だったのですが、ざっと 29 の項目なっていますが特にこれは追加すべきだという文言があれば、ただ文章本文との関係ですから、本文に出ていないものをここに追加してもだめなものですから。

小田悟志委員 すみません間もなく退室ということでありまして、昨日、インフルエンザ流行中でも学童スキー大会無事開催しました。ありがとうございました。良い大会だったと思います。二点ほどありまして、一つは競技スポーツに関わる取組 10 の部分ですとか、東京オリンピックの取組の中にも入ってきますけど、この間スポーツ課長さんとスポ少の懇親会の時に話をしたんですけど、より高いレベルを目指すということで施策を取りながら補助を出したり、指導者養成したりあるのですが、鶴岡の子どもたちは意外に、地域で活躍をしてきた人たちを知らないというふうに私は思っています。例えば、お隣の齋藤隆先生はまさにオリンピック選手ですけど、おそらく子どもたちは知らないと思うのです。小関選手のことは知っているとしても、現在活躍している選手、これまでにこの分野で大活躍した選手を子どもたちが知るような場所に提示をするということって子どもたちの目標や憧れになって、僕も頑張ってみようと思わないだろうか、少なくともこのように活躍した選手が鶴岡出身でいるのだからということ何か知らせる手立てはないものかなと思っていました。冊子となってしまうとしまえば終わりなので、例えばよく来る体育館の下のフロアなどにパネルを用意してオリンピックに向けて鶴岡で育ったオリンピック選手だということで、齋藤先生や小関選手を紹介してみんなも後に続きましょうとかですね、尚且つ今現在活躍している選手はそこに日本新を出したりしてすごく大きな文字を加えてですね、祝日本新みたいな形でリアルタイムに更新していくとか、過去の選手であればこういうふうな挫折を乗り越えて頑張ったとか、少し人となりが見えるような表示などをしてですね、子どもたちに少し憧れを抱く場所、そういった表示を一堂にあると僕の頑張っている野球だと長谷川勇也さんいるとか、気が付いていくんじゃないかなと、オリンピックと競技スポーツの子どもたちの育成にはそういった知って目標を持つ、身近に感じて頑張ろうと意欲を持つということも大事なんじゃないかなと思って何かに加えていただければなと思ったところでした。

渡部会長 ただいまのご意見、事務局としてコメントございますか。

齋藤課長（事務局） ただ今のご意見ありがとうございます。先日お会いした際にお聞きしております、例えば今ですと市民プールとかそれぞれの施設には紹介するところがありますけれども、一堂にまとまったところでは現在ございませんので、そういうことがするとなればたぶん一番はこちらの体育館になるのかなと思っておりますけれども、どういった表示が良いのかそこも含めて検討したいと思います。

渡部会長 これはどういう媒体を使うか非常に難しい話ですけど、今はスマートフォンだとかなんとかがつつい子どもたちもやっているわけですけども、私なんか全然わからないという、そういう人もいるわけで。例えば今年の県縦断駅伝で、この時に体協としては選手名を地域の人ほとんど知らないということで選手名鑑を急遽出したのです。これは手前味噌ですがまあまあ評判あってですね、やっぱり初めて知ったというような方多かったですね。その二番煎じになるかもしれませんが、なんとか体協ニュースみたいな形で、小中高体連で活躍した選手をダイレクトに市民の皆さんに届けるというような手がないかですね、予算的な問題もあって難しいかもしれませんが、何か考えないとですね、今小田委員がおっしゃったようなところを現実にほとんど知らないという、これは事実ですからそれをやる効果は相当期待できるのかなという気はいたします。なんとか皆さんの知恵をいただいてですね、この機関行政でやる

か団体でやるかという問題はありますけども、どこでやらなければという集約でなくて、何かできなのという知恵の出し合いをスポーツ課あたりから取りまとめいただいてやっていただければありがたいなという気はいたします。他にございませんか。

齋藤隆委員 それぞれに写真があると非常に見やすく入ってくるなと感じがするのですが。一つは前段の計画にも写真ありましたが、表紙の部分の写真の予定がどんなものがあるのかなということ、それから取組の中でお金もかかるのでしょうかでもそれぞれ写真が入るとももっとも見やすく入り込めるのかなと。まだ入りそうなところ、部活動であるとかそんなところなど写真は考えればあるのかなと。予算的なこともあるのですが、写真を入れると非常にソフトで良い感じになってくるなと。また、表紙は何か予定された写真があるのですか。

渡部会長 中の写真はともかく、表紙何か予定があれば

佐々木真人委員 写真をもっと大きく、さっきの取説もそうですが、文字が小さくてわれわれは読むなというような。前にいただいているものは大きいものですが、今日の後の資料もページの関係で小さくしているのかなとは思いますが。別の関係で鶴岡市から出るものでポイントが8くらい数字で年寄りに文書が行くと、誰に出しているんだと、読む方を考えて作ってくださいということで、これだけ文字がきちんと入っているのですので、その辺も考えてバランスとっていただければ大変読みやすくと感じます。

渡部会長 その辺も含めて事務局、コメントありますか。

齋藤（事務局） 写真のキャプションの文字の小ささでよろしかったですか。

加藤教育長 写真そのものを大きく。

齋藤（事務局） レイアウトの関係もありますのでできる限りやってみます。それから表紙に関しましては、元の推進計画では子ども夢スポーツフェスティバルの写真を中心に使っておりました。今回ご提案としましては、写真なしでご提案をさせていただいたところです。他の自治体の推進計画もさまざま見てみると写真のない自治体が多いのですが、この度どれか一つの写真を選んでイメージが偏るというよりは、敢えてないというところでご提案させていただきたいと考えておりました。中の写真につきましては、保存してある写真を配置させていただいたということでありまして、先ほどお話しありました部活動など特に子どもの写真となりますと掲載する分には配慮が必要になってくるのかなと考えたものですから、敢えて収集してまで掲載ということはしていないというような状況でございます。ただもっとほかの取組の部分で写真を探してみまして掲載できるものありましたら追加していきたいと考えております。

渡部会長 表紙については相当考えた結果として、決して他市町村追随ということではなくて写真なしを考えたということですが、齋藤委員どうですか、その辺は。

齋藤隆委員 硬い感じしますよね。写真でなくても図柄でも良いし、これから5年間頑張るんだみたいな、無理に写真でなくても図柄を載せても。皆さんから見ただいてよし、やって行こうとか一緒にいきましょうとか、私はソフトの面が好きです。これは意見だから。

渡部会長 話の通りだと思いますので、ひとつ事務局としては検討していただけるとありがたいということですね。決して写真にはこだわらないということでした。

齋藤（事務局） デザイン的にも考えた形で作ってみたいと思います。

渡部会長 だいたい検討箇所についてはやってきたわけですが、全体的にご意見がございました

らお出しをいただきたいと思います。なお、取りまとめた改定のポイントということで1枚のものがありますが、これを配布したいというような考え方のようです。これの組み方についてもご意見がありましたら何かございませんか。これは詰め込みすぎだとか、もうちょっと簡単にした方が良いというのがあるかもしれません。

丸山春男委員 繰り返しになりますけど、ちょっと気になっています。7ページにこだわっているわけですが、「全国大会で優勝する選手を年に10人程度輩出することを目指します」ということですが、もしわかれば現在年にどのくらいいるかわかりますか。

齋藤（事務局） 過去5年の鶴岡市体育協会さんの勲功章の部分で見ますと、過去5年平均で6.8人ということになっておりました。その現状6.8人という部分をこの5年間の中で10人に伸ばせないかというような目標の設定の仕方としました。

加藤教育長 勲功章は中高大一般で小学生は入っていないけど、中学校以上のカテゴリーでということになります。

渡部会長 体協で功労賞を表彰するのですが、なかなか全国大会というとらえ方が非常に難しく、いろんな大会が出てきているんですよ。増やそうと思えばもっと表彰は増えるのですが絞っているものですから6.8人という形になるわけで。その辺は微妙ですね。ただ非常に可能な目標ではないかなと体協としては感じています。

丸山春男委員 なぜかという、その前段の方には何十%を何十%に増やしたいという表現なんです。これは10名とでてきたものですから、もし可能であれば現在例えば7人とか入れにくいと思いますけど、そういう意味で気になったものですから発言させていただきました。

渡部会長 他に何か全体的に、どの部分での結構ですからご意見をいただきたいと思いますが、いかがですか。

齋藤隆委員 このダイジェスト版はカラーになるんですか。

齋藤（事務局） 白黒で考えておりました。

齋藤隆委員 だいぶ値段違うんだ、白黒とカラーでは。

渡部会長 こういうものを作ろうとするとどうしても欲張るんですよ。どうしても詰め込みになるんですが、これだけの紙面ですからしかも片面で裏なしで。少し工夫をしていただければなという気はいたします。計画期間というのはわかる話で、今ここで体裁をどうのこうのではありませんけどもうひと工夫していただければなという気はいたします。他にございませんか。特になければ協議（1）改定計画（案）についての審議はこれで閉じたいと思いますが、委員の方々よろしいですか。それではご協力ありがとうございました。それでは計画（案）についての審議をこれで終了したいと思います。事務局にお返ししたいと思います。

高橋（事務局） 渡部会長、議事進行ありがとうございました。続きまして、次第の4「その他」でございますが、委員の皆様から何かございますか。無いようであれば、事務局から次回審議会の開催予定についてですが、冒頭で申し上げました通り、3月下旬に開催する予定でございます。開催日は未定ですが、会議開催の1か月ほど前にご案内させていただきますので、皆様お忙しいとは存じますがよろしくお願ひいたします。何か質問等はございますか。無いようであれば、これをもちまして、平成30年度第3回鶴岡市スポーツ推進審議会を閉会いたします。本日は誠にありがとうございました。